

# 第 I 部 調査結果の概要

## 1 平成 25 年の概況

～ 生産・出荷・在庫指数とも、前年から上昇 ～

- 鉱工業指数は、生産・出荷・在庫共にわずかではあるが前年を上回った。(生産 102.1 [前年比 0.2% 上昇], 出荷 100.2 [前年比 1.0% 上昇], 在庫 111.7 [前年比 1.9% 上昇])

～ 四半期別 (季節調整済指数) でみると～

- 生産指数は、平成 25 年 I 期, II 期には前期を上回ったものの、平成 25 年 III 期に 3 期ぶりに前期比を下回った。
- 出荷指数は、平成 24 年 III 期から 90 台後半で推移していたが、平成 25 年 IV 期に 6 期ぶりに 100 を上回った。
- 在庫指数は、平成 25 年 II 期を除いて前期を上回っており、平成 23 年 II 期以降 100 を超えて推移している。

### (1) 鉱工業生産指数

鉱工業生産指数は、102.1(前年比0.2%上昇)。2年連続で前年を上回った(図1)。業種別にみると、輸送機械工業、プラスチック製品工業、非鉄金属工業など8業種が上昇し、電気・情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業、一般機械工業(総合)など10業種が低下した(図2)。

### (2) 鉱工業出荷指数

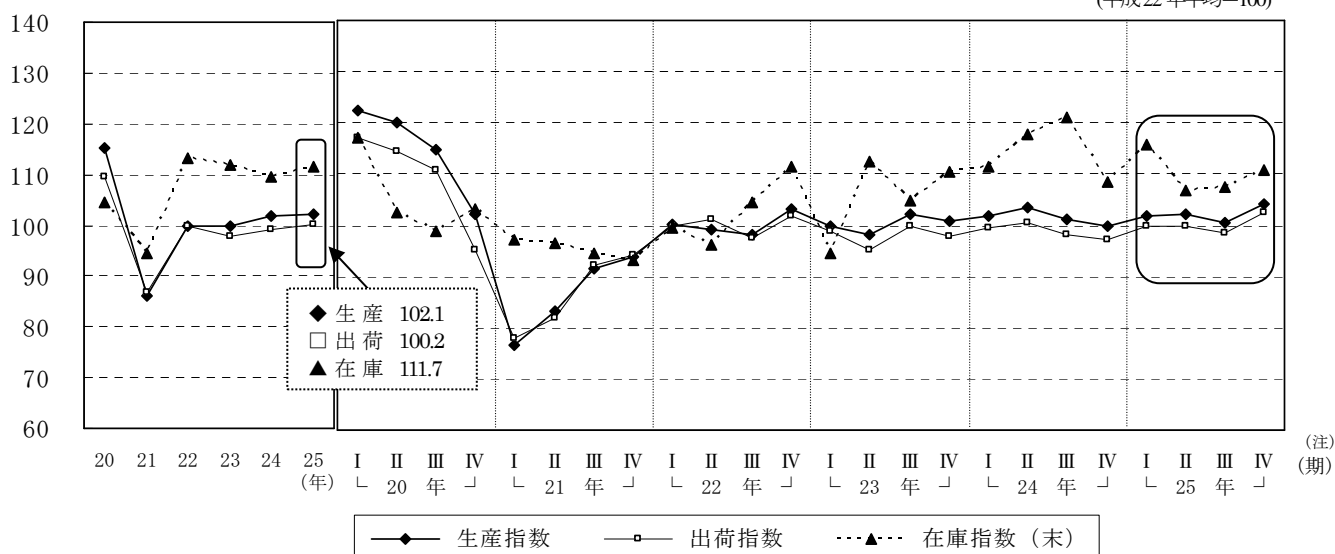
鉱工業出荷指数は、100.2(前年比1.0%上昇)。2年連続で前年を上回った(図1)。業種別にみると、輸送機械工業、プラスチック製品工業、金属製品工業など11業種が上昇し、電子部品・デバイス工業、鉄鋼業、一般機械工業(総合)など7業種が低下した。

### (3) 鉱工業在庫指数 (末)

鉱工業在庫指数(期末在庫)は、111.7(前年比1.9%上昇)。3年ぶりに前年を上回った(図1)。業種別にみると、鉄鋼業、プラスチック製品工業、一般機械工業(総合)など12業種が上昇し、鉱業は横ばい、繊維工業、化学工業、金属製品工業など4業種が低下した。

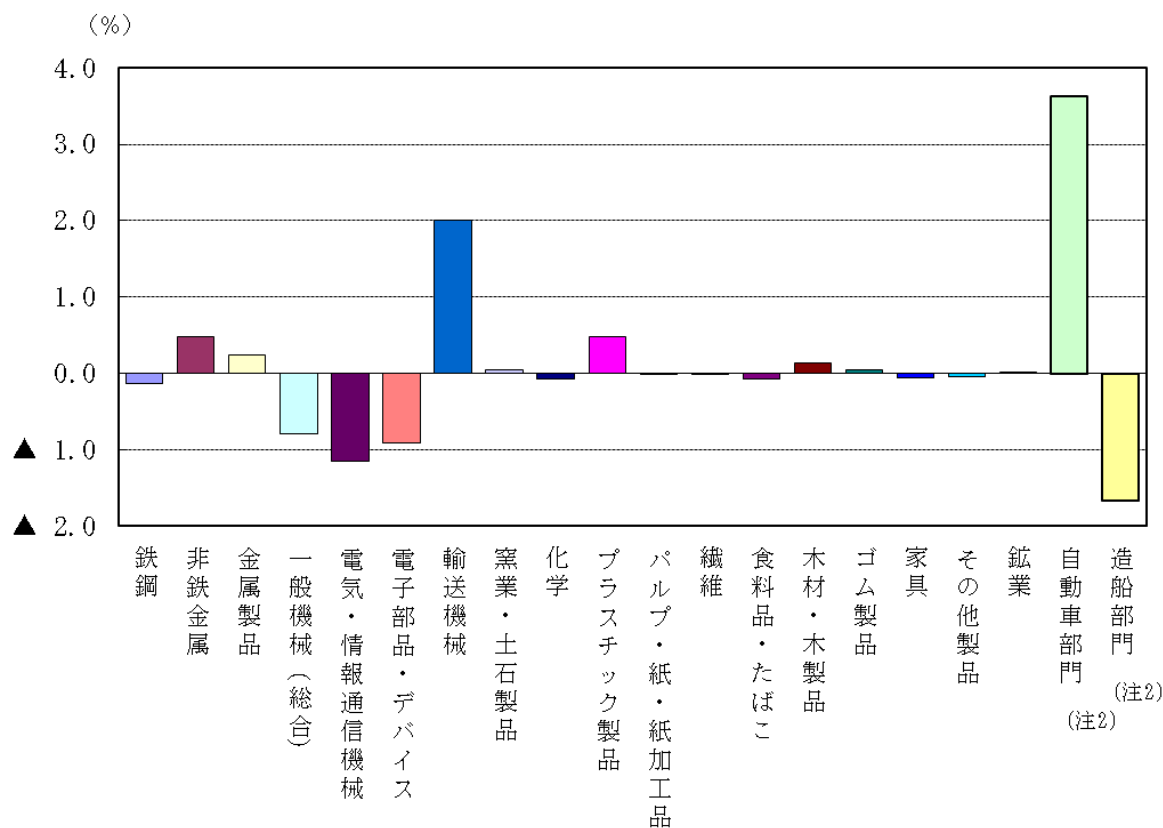
図1 鉱工業指数の推移 (年は原指数, 四半期は季節調整済指数)

(平成22年平均=100)



(注) I期: 1~3月, II期: 4~6月, III期: 7~9月, IV期: 10~12月

図2 平成25年における鉱工業生産指数の前年比に対する業種別寄与度<sup>(注1)</sup>



(注1) 寄与度とは、鉱工業指数全体の上昇・低下に対し、各業種の上昇・低下が、どの程度影響を与えているかを示したものである。

(注2) 自動車部門とは、輸送機械工業18品目のうち、小型自動車など自動車関連12品目と、電気・情報通信機械工業の自動車用電気照明器具の合計である。

造船部門とは、輸送機械工業のうち、船用ディーゼル機関など造船関係5品目の合計である。

## 2 生産の業種別動向(寄与度順)

### (1)前年比が上昇した主な業種

上昇した主な業種	前年比	寄与度	上昇した主な品目
輸送機械工業	6.3%	2.0%	普通自動車, ガソリンエンジン, ディーゼルエンジン
プラスチック製品工業	7.5%	0.5%	光学フィルム, パイプ, フィルム
非鉄金属工業	9.7%	0.5%	アルミニウム鋳物, アルミコダグイスト, 銅線

### (2)前年比が低下した主な業種

低下した主な業種	前年比	寄与度	低下した主な品目
電気・情報通信機械工業	▲23.1%	▲1.2%	携帯電話, 工業用計測制御機器, 低圧遮断器
電子部品・デバイス工業	▲14.2%	▲0.9%	半導体集積回路, モス型半導体集積回路(CCD), モス型半導体集積回路(マイコン)
一般機械工業(総合)	▲4.3%	▲0.8%	ボイラの部品, 研削盤, 一般用蒸気タービン

### 3 関連業種別生産指数の推移

機械関連業種、生活関連業種は低下、素材関連業種は4年連続上昇

業種別の生産指数を、機械関連業種、素材関連業種、生活関連業種の3関連業種に分けて分析すると<sup>(注)</sup>、平成25年は、機械関連業種は2年ぶりの低下、素材関連業種は4年連続上昇、生活関連業種は、2年連続低下となった。生活関連業種が近年低下する反面、素材関連業種の上昇が目立つ。(図3、4)。

図3 鉱工業生産指数の前年比の推移

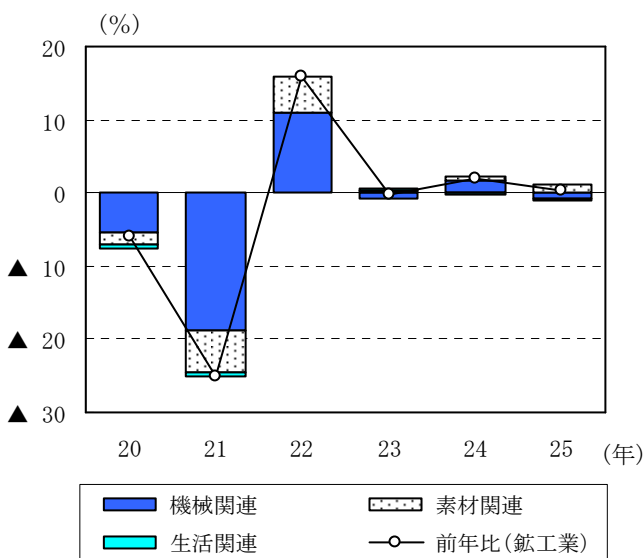
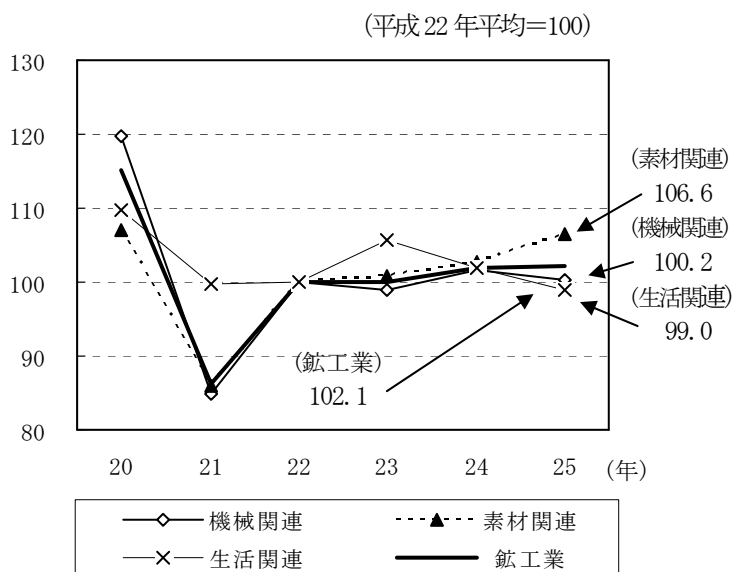


図4 関連業種別生産指数の推移



(注) 各関連業種の分類は、次のとおりとした。

機械関連業種：一般機械工業(総合)、電気・情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業の4業種

素材関連業種：鉄鋼業、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、化学工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、木材・木製品工業、ゴム製品工業の9業種

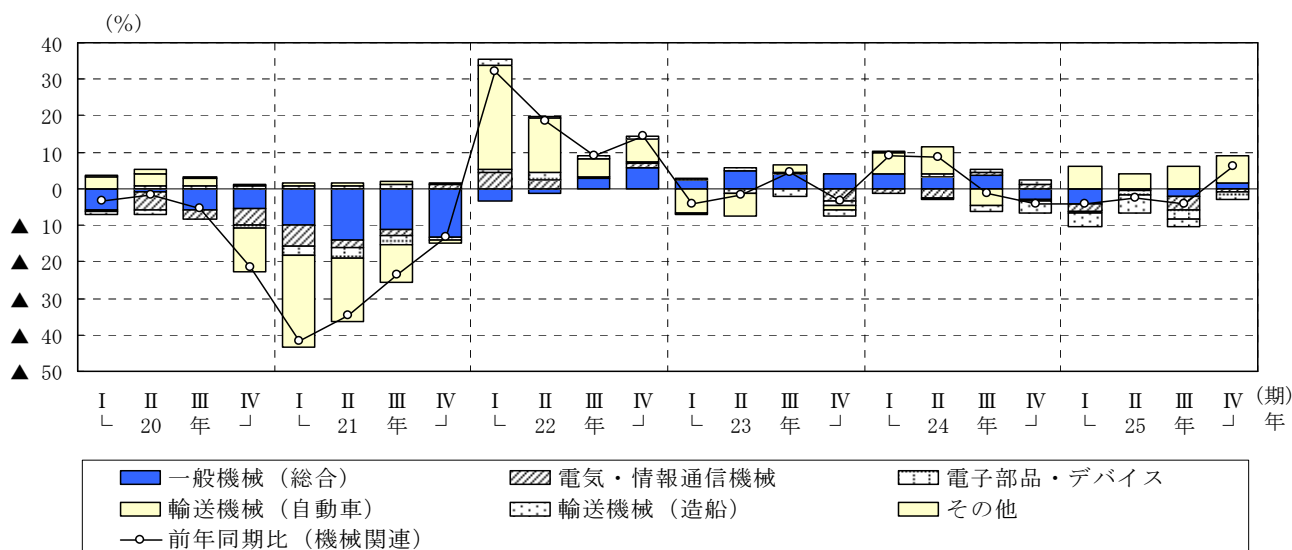
生活関連業種：繊維工業、食料品・たばこ工業、家具工業、その他製品工業の4業種

#### (1) 機械関連業種の生産指数の推移

機械関連業種の生産指数は、平成25年Ⅳ期で6期ぶりにプラスへ転じた

機械関連業種の生産指数は、輸送機械工業(自動車)が前年同期比プラスで推移したものの、電子部品・デバイス工業、電気・情報通信機械工業が低下に寄与した。このため、平成25年Ⅳ期は前年同期比上昇(前年同期比6.2%)したものの、平成25年Ⅰ～Ⅲ期は前年同期を下回った(図5)。

図5 生産指数（機械関連業種）の前年同期比の推移及び業種別寄与度



① 一般機械工業(総合)

一般機械工業(総合)の生産指数は、118.7(前年比 ▲4.3%低下)。ショベル系掘削機、圧延機械及び同付属装置などが上昇したものの、ボイラの部品、研削盤などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成25年I期とIII期は前年同期を下回ったが、IV期にはプラスに転じた。

② 電気・情報通信機械工業

電気・情報通信機械工業は、66.5(前年比 ▲23.1%低下)。開閉制御装置、非標準変圧器などが上昇したものの、携帯電話、工業用計測制御機器などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成25年I期は3期ぶりにマイナスに転じ、IV期まで4期連続で前年同期を下回った。

③ 電子部品・デバイス工業

電子部品・デバイス工業は、87.9(前年比 ▲14.2%低下)。半導体集積回路、モス型半導体集積回路(CCD)など全品目で低下した。四半期ごとにみると、平成25年I期は平成23年IV期から5期ぶりにマイナスに転じ、IV期まで4期連続で前年同期を下回った。

④ 輸送機械工業(自動車部門)

輸送機械工業(自動車部門)は、111.3(前年比 14.5%上昇)。小型自動車、駆動伝導及び操縦装置部品などが低下したものの、普通自動車、ガソリンエンジンなどが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成25年I期は3期ぶりにプラスに転じ、IV期まで4期連続で前年同期を上回った。

### ⑤ 輸送機械工業(造船部門)

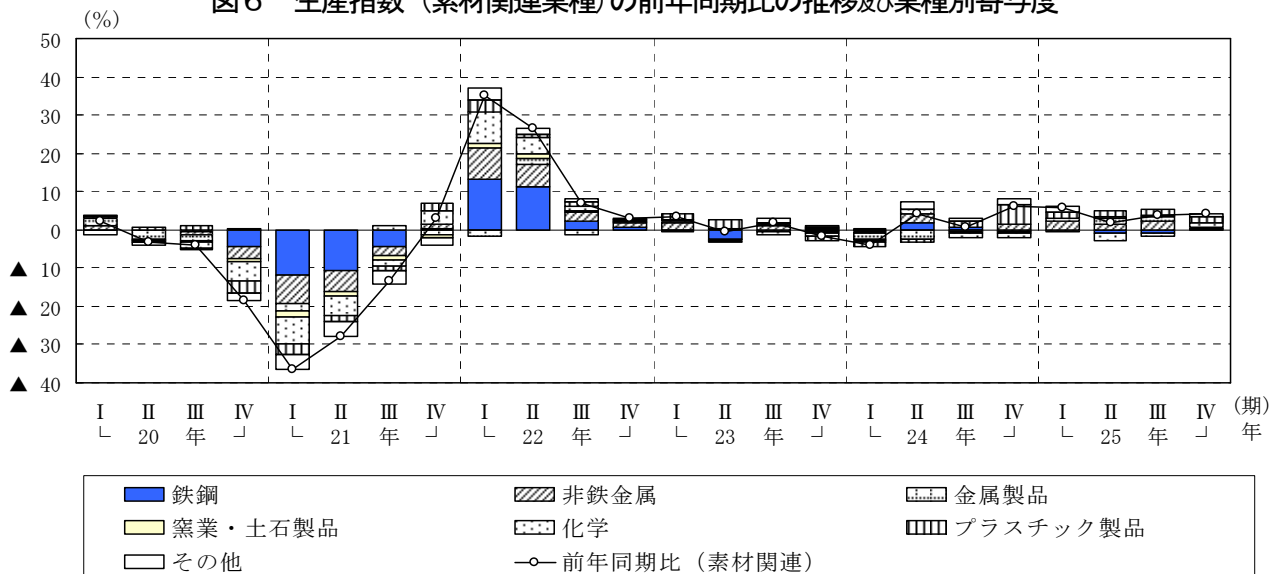
輸送機械工業(造船部門)は、66.3(前年比 ▲22.7%低下)。鉄道用車両部品、鋼船修理が上昇したものの、鋼船新造、船体ブロックなどが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成25年Ⅰ～Ⅲ期は前年同期を下回り、Ⅳ期は横ばい。平成25年Ⅱ期(前年同期比 ▲4.9%低下)は、現行基準で比較可能な平成20年以降で最大の下落率となった。

## (2) 素材関連業種の生産指数の推移

### 素材関連業種の生産指数は、プラスで推移

素材関連業種の生産指数は、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、プラスチック製品工業がプラスで推移したため、平成25年は全期で前年を上回り、平成24年Ⅱ期以降、7期連続で前年同期を上回った(図6)。

図6 生産指数(素材関連業種)の前年同期比の推移及び業種別寄与度



### ① 鉄鋼業

鉄鋼業の生産指数は、96.1(前年比 ▲1.8%低下)。鉄系鍛工品、精密鋳造品などが上昇したものの、亜鉛めっき鋼板、鋼板などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成24年Ⅳ期から平成25年Ⅲ期まで、4期連続で前年同期を下回ったが、Ⅳ期にはプラスに転じた。

### ② 金属製品工業

金属製品工業は、92.5(前年比 12.7%上昇)。水門、スチール・ステンレス建具などが低下したものの、橋りょう、飲料用アルミニウム缶などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成24年Ⅳ期から平成25年Ⅰ期は0.0%で推移しているが、平成25年Ⅱ期～Ⅳ期まで、3期連続で前年同期を上回っている。

### ③ 化学工業

化学工業は、96.8(前年比 ▲1.8%低下)。酸化第二鉄、水系塗料などが上昇したものの、メタクリル酸エステル・モノマー、フルオロカーボンなどが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成25年Ⅰ期とⅣ期は前年同期を上回り、Ⅱ期とⅢ期は前年同期を下回っている。

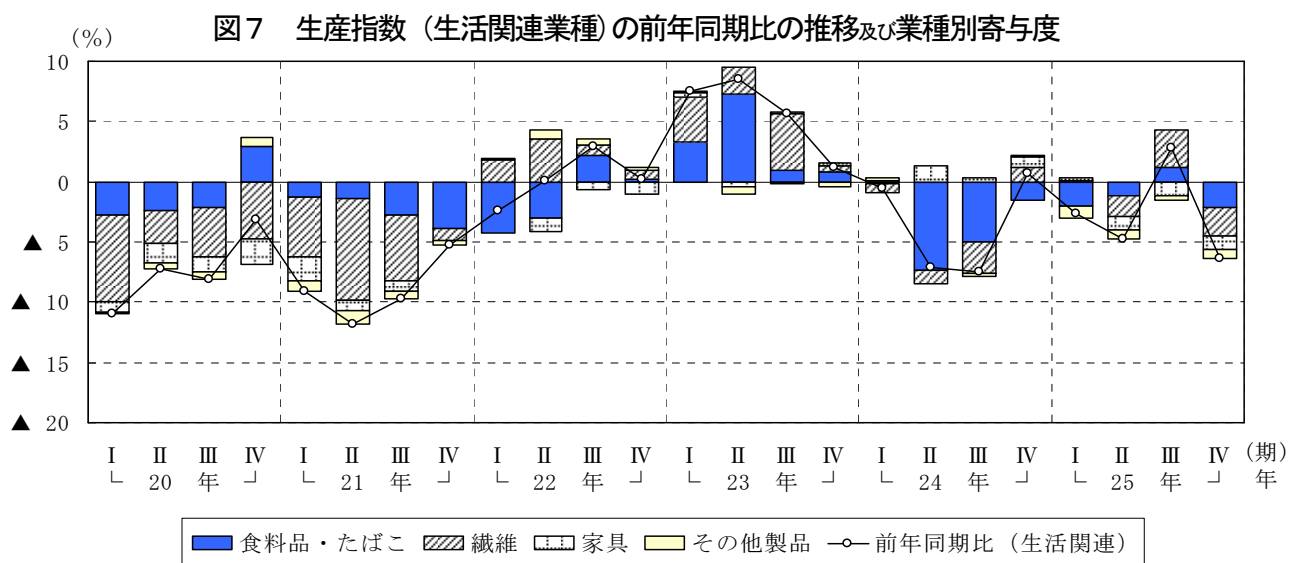
#### ④ プラスチック製品工業

プラスチック製品工業は、118.0(前年比7.5%上昇)。日用品・雑貨、強化製品などが低下したものの、光学フィルム、パイプなどが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成24年Ⅲ期以降、6期連続で前年同期を上回っている。

### (3) 生活関連業種の生産指数の推移

生活関連業種の生産指数は、平成25年Ⅲ期以外はマイナスで推移

生活関連業種の生産指数は、その他製品工業がマイナスで推移し、平成25年Ⅰ～Ⅱ期は前年同期を下回り、Ⅲ期はプラス(前年同期比2.8%上昇)に転じたものの、Ⅳ期で再びマイナスに転じた(図7)。



#### ① 食料品・たばこ工業

食料品・たばこ工業の生産指数は、96.6(前年比▲2.1%低下)。乳飲料、海藻加工品などが上昇したものの、清涼嗜好飲料、瓶詰・缶詰などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成24年Ⅰ期から平成25年Ⅱ期まで、6期連続で前年同期を下回っていたが、平成25年Ⅲ期はプラス(前年同期比1.2%上昇)に転じたものの、Ⅳ期で再びマイナスに転じた。

#### ② 繊維工業

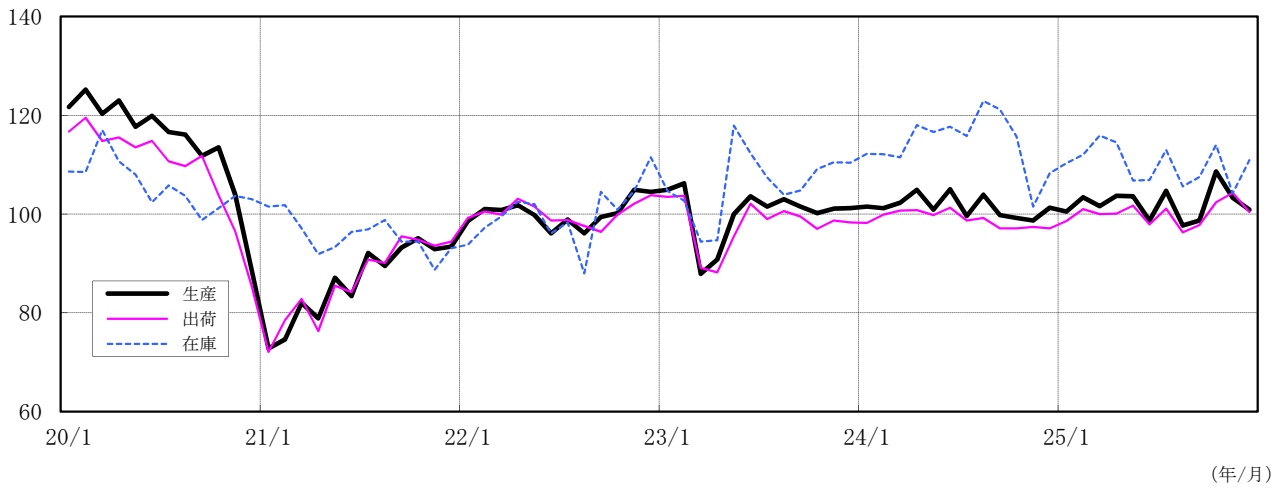
繊維工業は、105.4(前年比▲0.8%低下)。化学合成繊維、綿織物などが上昇したものの、綿糸、織物製外衣などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成25年Ⅰ期、Ⅲ期は前年同期比を上回ったが、平成25年Ⅱ期、Ⅳ期は前年同期比を下回った。

#### ③ その他製品工業

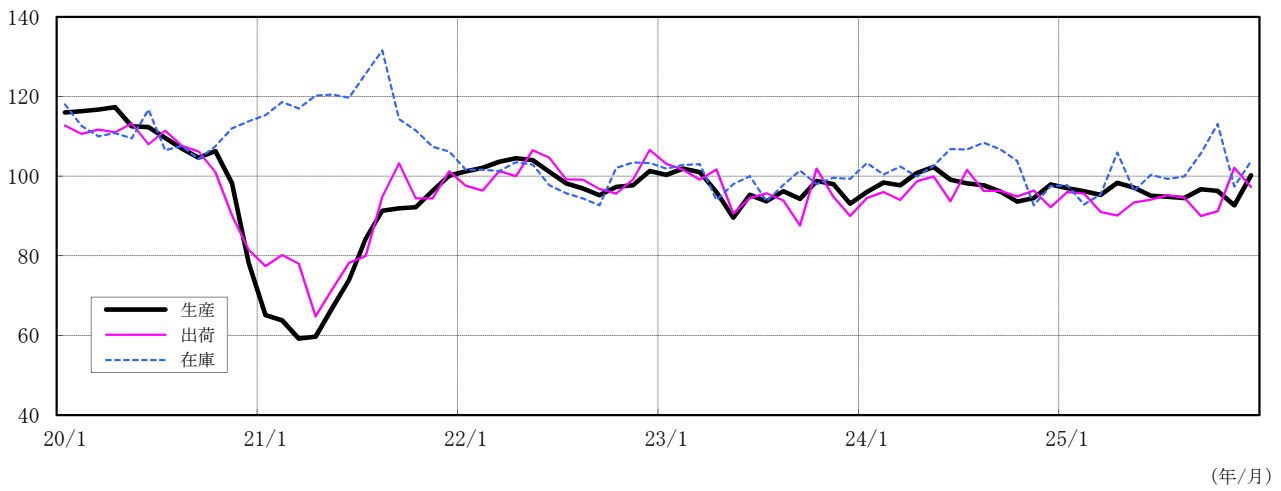
その他製品工業は、91.3(前年比▲6.7%低下)。毛筆が上昇したものの、平版印刷、電動玩具などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成25年はⅠ期で2期ぶりにマイナスに転じ、Ⅳ期まで4期連続で前年同期を下回った。

#### 4 主要業種別季節調整済指数の推移（平成22年平均＝100）

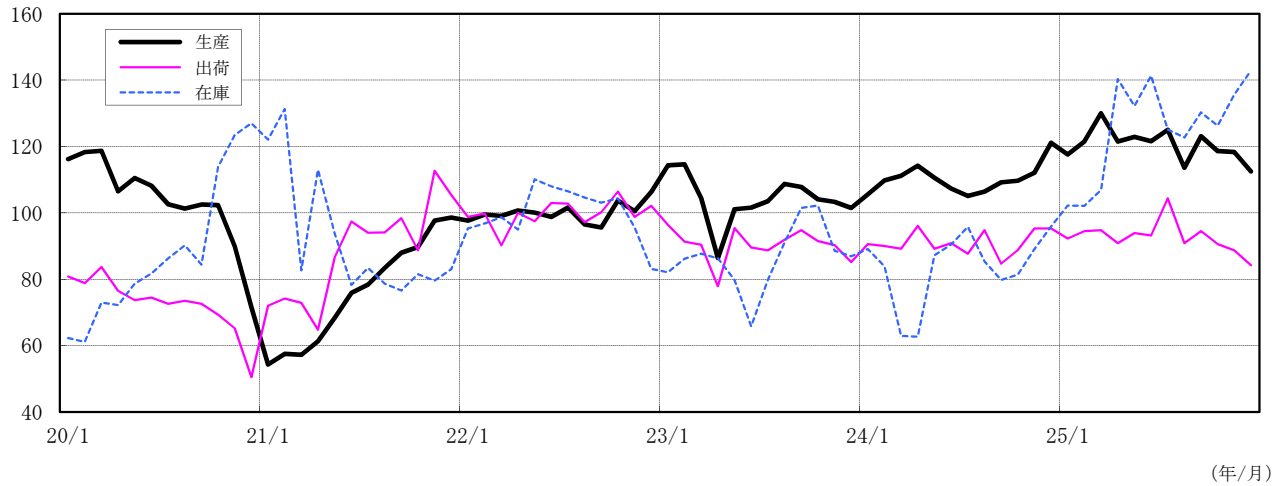
鋳工業（付加価値額ウェイト＝10000.0）



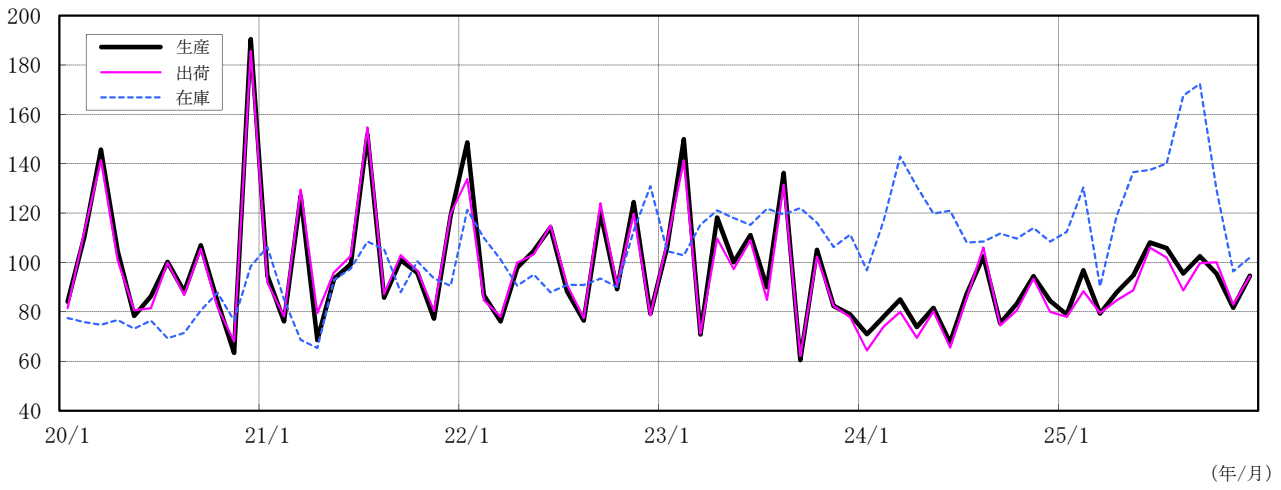
鉄鋼業（付加価値額ウェイト＝778.5）



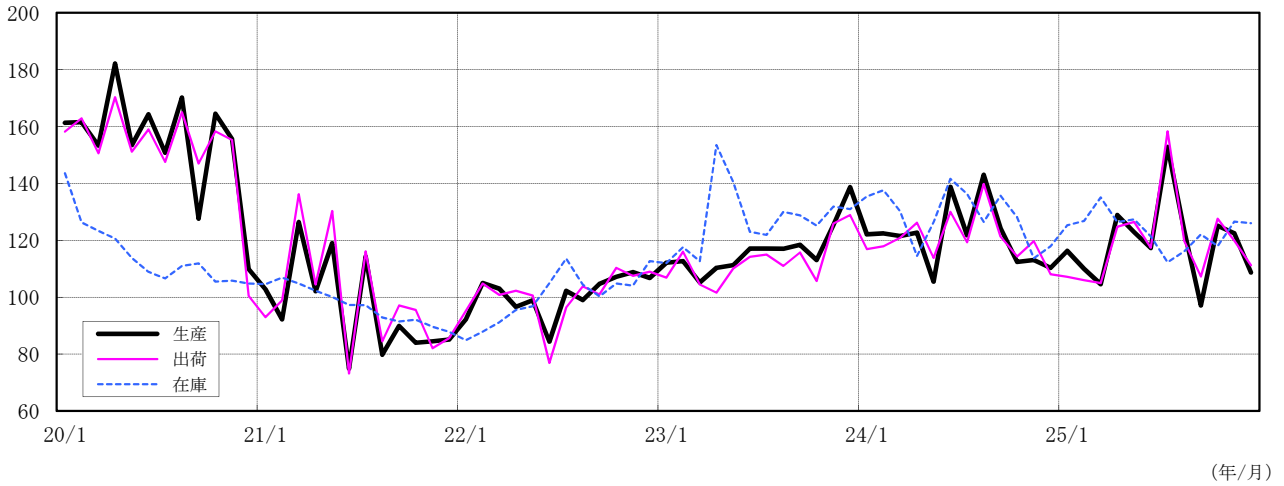
非鉄金属工業（付加価値額ウェイト＝454.1）



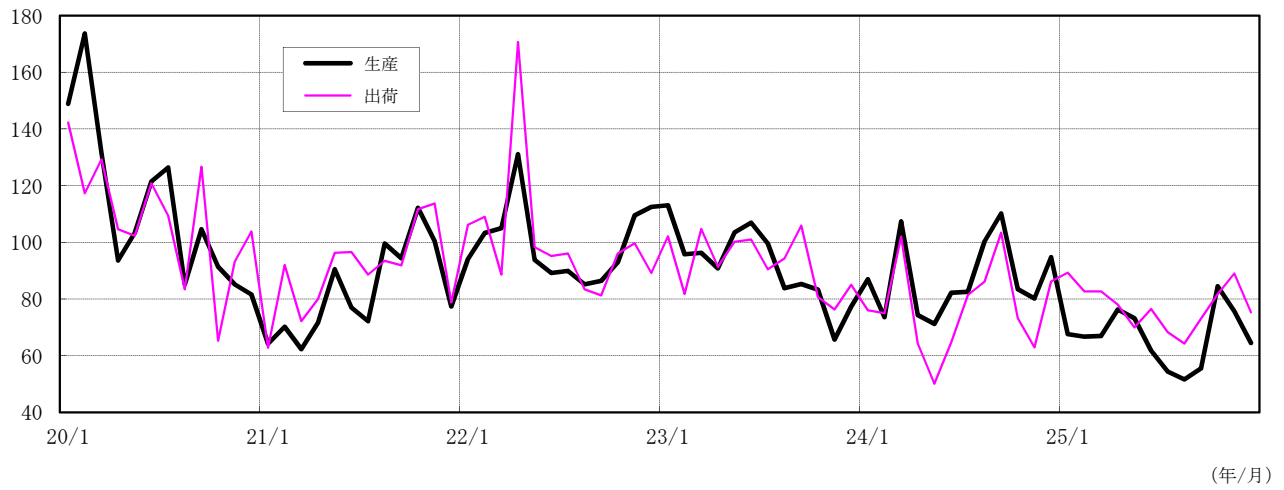
金属製品工業（付加価値額ウエイト＝241.6）



一般機械工業（総合）（付加価値額ウエイト＝1526.6）

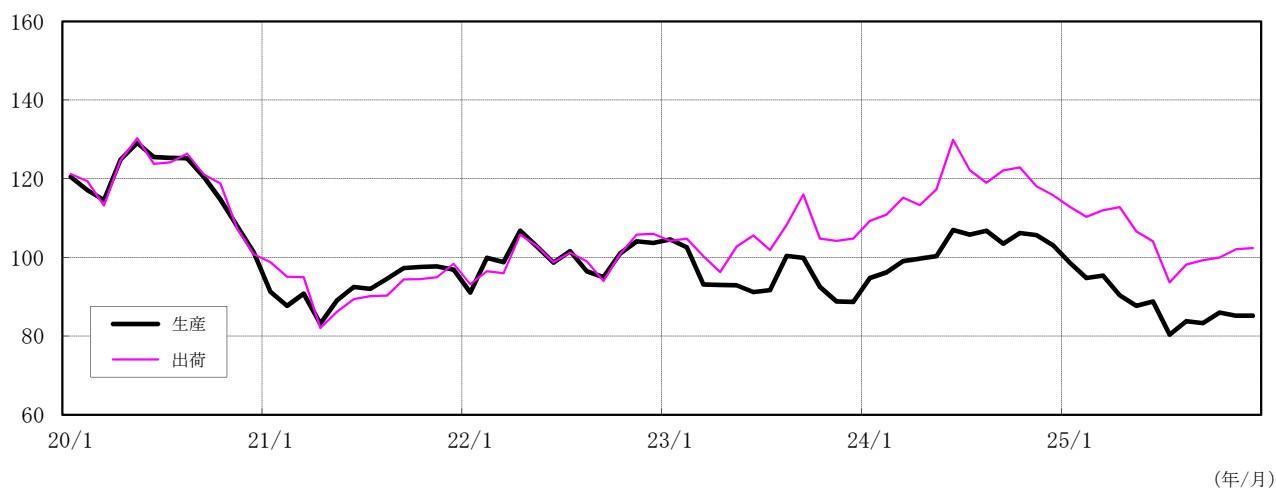


電気・情報通信機械工業（付加価値額ウエイト＝589.9）

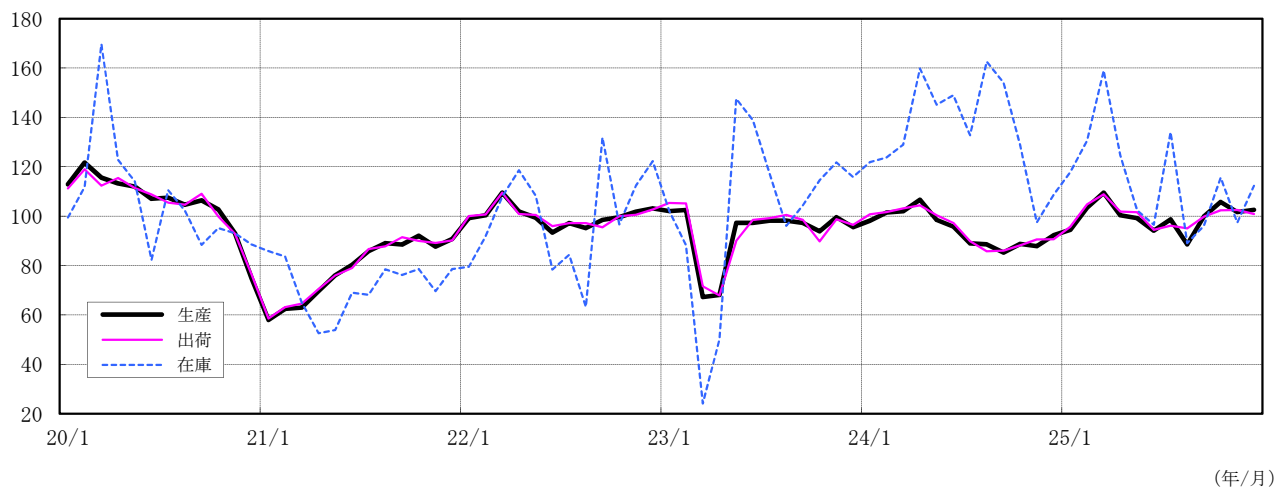




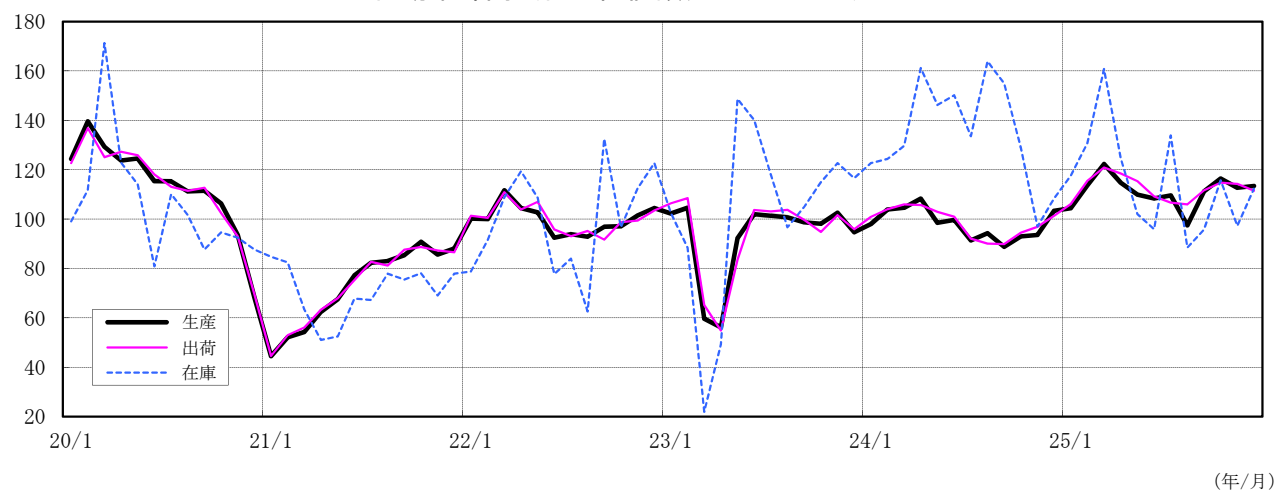
電子部品・デバイス工業（付加価値額ウェイト＝635.9）



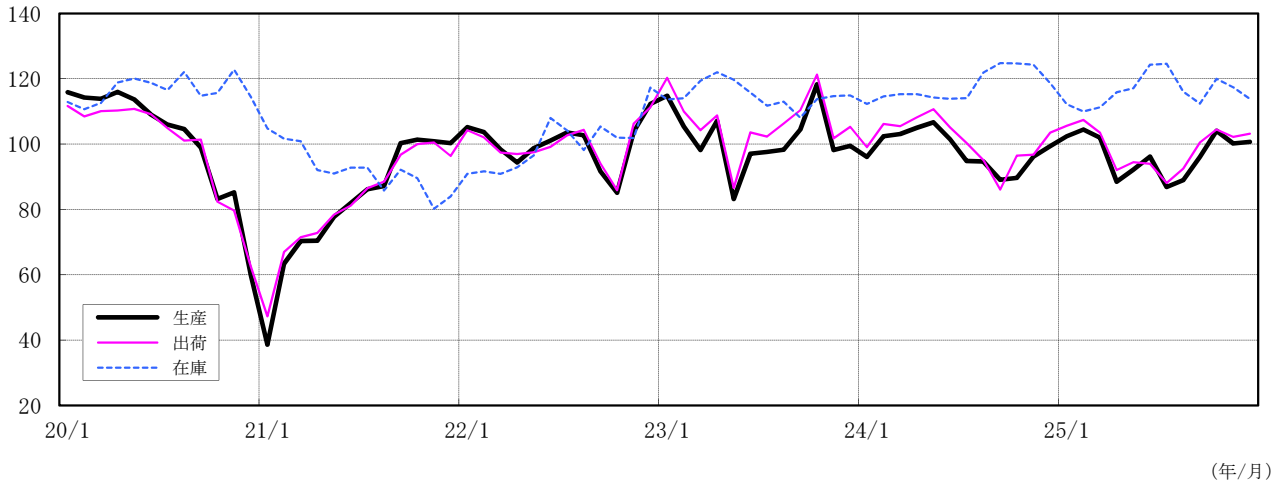
輸送機械工業（付加価値額ウェイト＝3467.7）



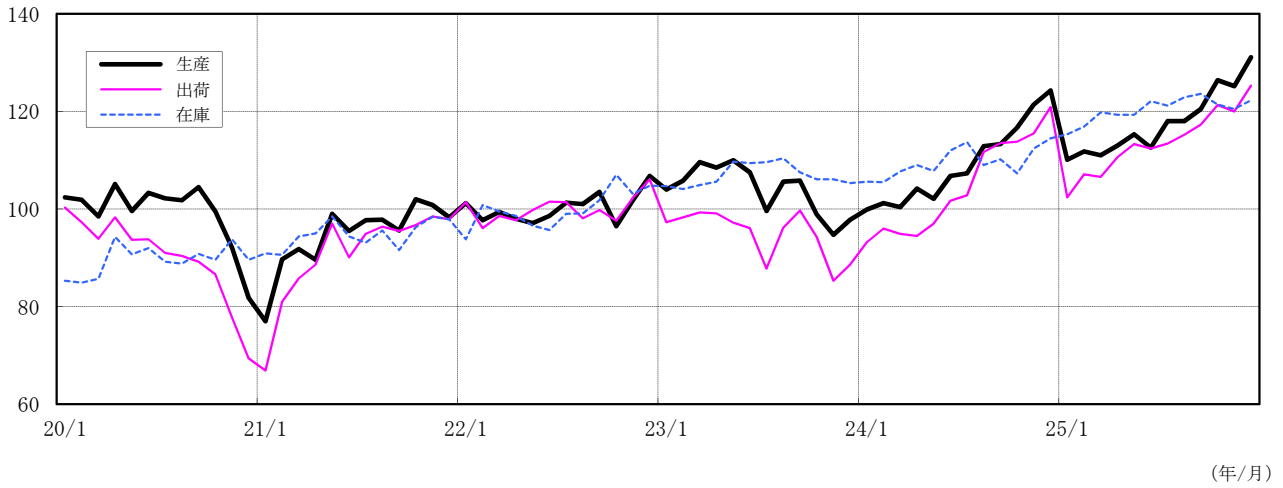
自動車部門（付加価値額ウェイト＝2624.8）



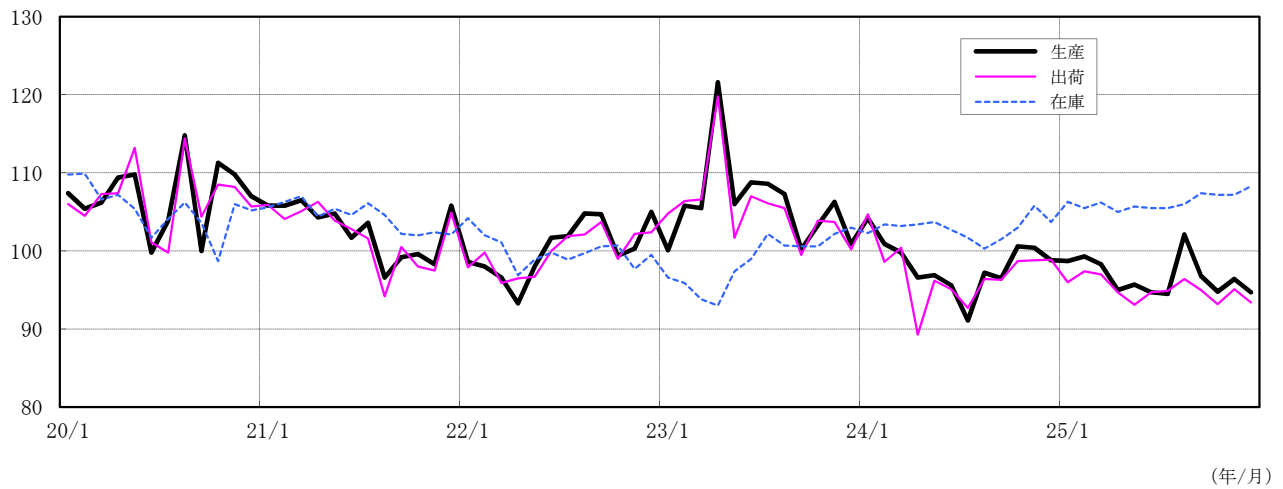
化学工業（付加価値額ウェイト=447.1）



プラスチック製品工業（付加価値額ウェイト=604.6）



食料品・たばこ工業（付加価値額ウェイト=357.0）



## 5 広島県、中国地方及び全国における鋳工業生産指数の推移

平成25年を四半期ごとにみると(図8)、広島県では平成25年Ⅲ期まで前年同期を下回ったが、Ⅳ期は前年同期を上回った。中国地方では平成25年Ⅱ期まで前年同期を下回ったが、Ⅲ期以降は前年同期を上回った。全国では平成25年Ⅱ期まで前年同期を下回ったが、Ⅲ期以降は前年同期を上回った。

図8-1 広島県の鋳工業生産指数の前年同期比の推移

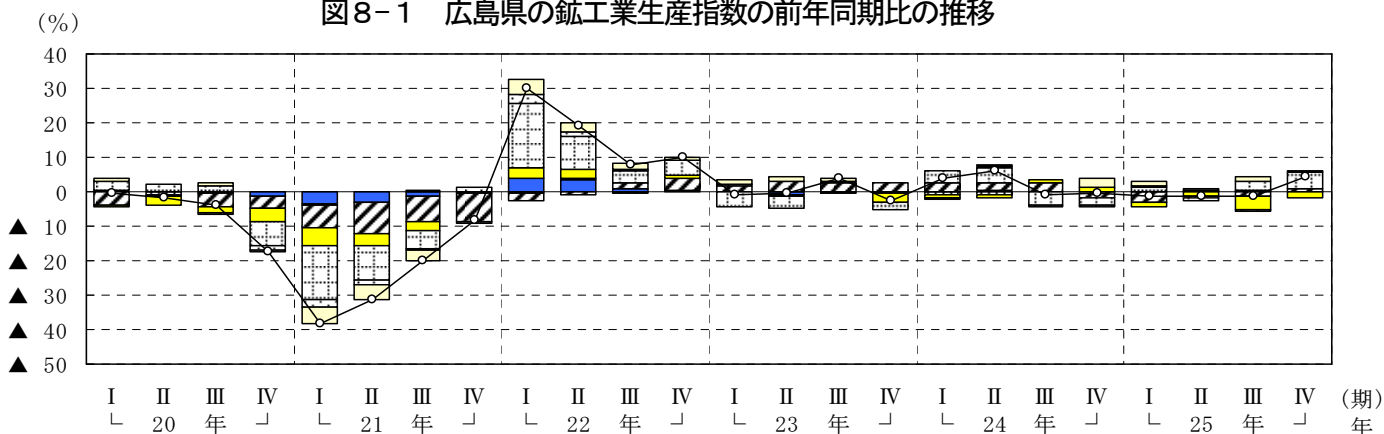


図8-2 中国地方の鋳工業生産指数の前年同期比の推移

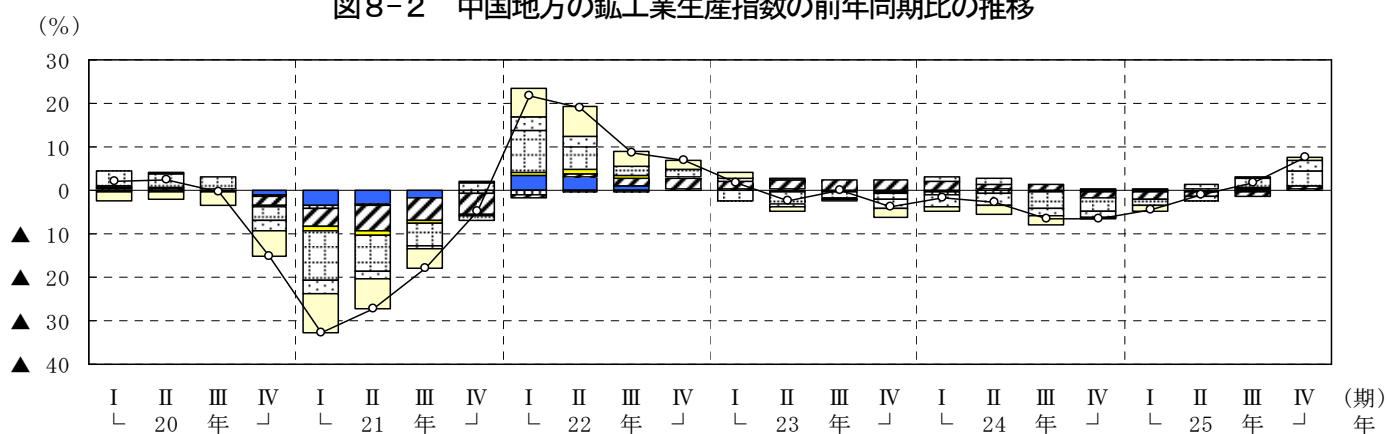
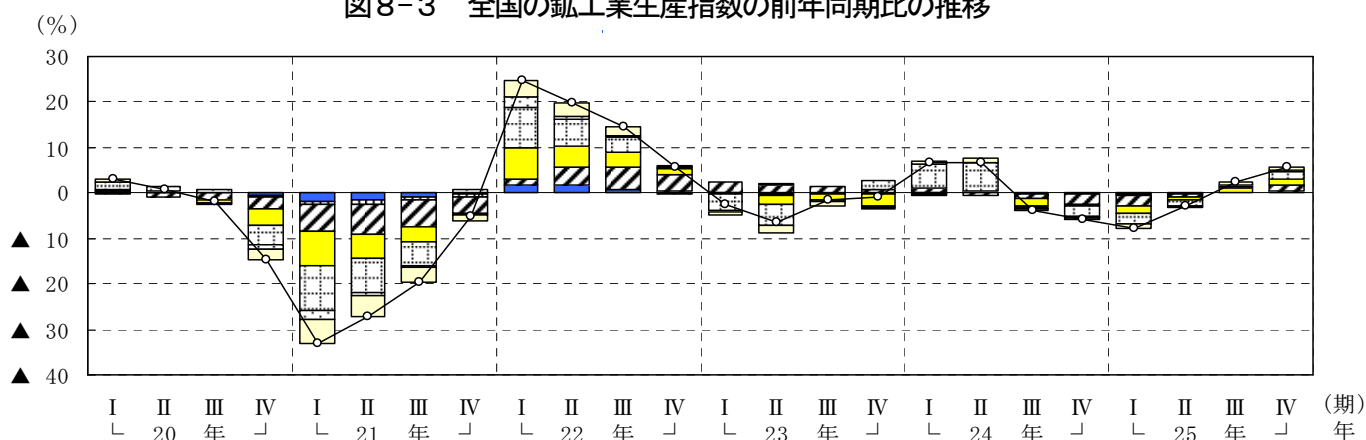


図8-3 全国の鋳工業生産指数の前年同期比の推移



■ 鉄鋼 ■■■ 金属製品 ■■■ 一般機械(総合) ■■■ 電気機械(総合) ■■■ 輸送機械 ■■■ 化学 ■■■ その他 ○— 鋳工業

出所：中国地方…「中国地域鋳工業生産動向」(経済産業省中国経済産業局) 全国…「鋳工業生産・出荷・在庫指数」(経済産業省)

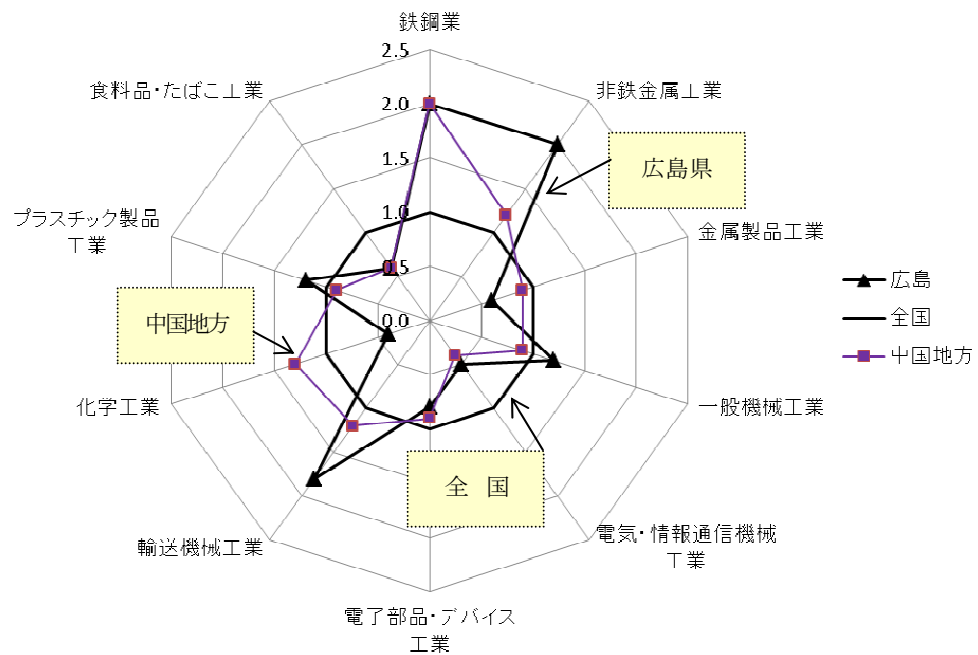
広島県の平成 25 年鉱工業生産指数は、前年とやや横ばいで推移している  
 また、広島県の前年同期比は、平成 25 年 I 期は中国地方の前年同期比を上回ったが、II 期～IV 期は前年同期比を下回った。

### 参考 鉱工業生産指数の付加価値額ウェイト(平成 22 年基準)について

特化係数<sup>(注)</sup>を用いて、広島県の主要業種のウェイトが、全国や中国地方と比較してどの程度の偏りがあるか見てみると(図 9)、全国との比較では、鉄鋼業、非鉄金属工業、輸送機械工業への特化の度合いが、大きい一方、金属製品工業、電気・情報通信機械工業、化学工業、食料品・たばこ工業の特化の度合いが小さい。中国地方との比較では、非鉄金属工業、輸送機械工業の特化の度合いが大きい、化学工業の特化の度合いが小さい。

図 9 主要業種における広島県及び中国地方の特化係数

(各特化係数は、平成 22 年基準の付加価値額ウェイトにより算出)



生産 (付加価値額) ウェイト	鉄鋼業	非鉄金属 工業	金属製品 工業	一般機械 工業	電気・ 情報通信 機械工業	電子部品・ デバイス 工業	輸送機械 工業	化学工業	プラスチック 製品工業	食料品・ たばこ 工業
全国	391.1	232.5	418.1	1273.1	1121.1	818.6	1912.4	1277.4	507.5	613.9
中国地方	768.6	268.0	361.1	1118.7	487.3	706.5	2351.6	1644.2	435.5	378.2
広島	778.5	454.1	241.6	1526.6	589.9	635.9	3467.7	447.1	604.6	357.0

(注)特化係数 = 各地域の構成比 ÷ 全国の構成比

特化係数が 1 を超えると、その地域においてその業種の構成比が全国平均よりも相対的に高いことを表し、特化係数が 1 を下回ると、その地域においてその業種の構成比が全国平均よりも相対的に低いことを表す。

# 別表 広島県、中国地方及び全国の鉱工業生産指数

(平成22年平均=100)

年・期・月	広島県				中国地方				全国			
	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比
平成 20年	/	/	115.1 ▲ 6.0	/	/	/	112.0 ▲ 2.9	/	/	/	110.7 ▲ 3.4	/
21年			86.2 ▲ 25.1				88.1 ▲ 21.3				86.5 ▲ 21.9	
22年			100.0 16.0				100.0 13.5				100.0 15.6	
23年			99.9 ▲ 0.1				98.9 ▲ 1.1				97.2 ▲ 2.8	
24年			101.9 2.0				94.6 ▲ 4.3				97.8 0.6	
25年			102.1 0.2				95.4 0.8				97.0 ▲ 0.8	
平成 20年 I 期	122.4 ▲ 2.9	124.2 ▲ 0.5	116.9 ▲ 0.8	118.8 2.1	116.8 0.3	116.9 2.9						
II 期	120.2 ▲ 1.8	116.8 ▲ 1.8	116.7 ▲ 0.2	113.7 2.4	114.8 ▲ 1.7	111.9 0.6						
III 期	114.8 ▲ 4.5	117.0 ▲ 3.7	113.8 ▲ 2.5	114.4 ▲ 0.4	110.5 ▲ 3.7	112.0 ▲ 1.8						
IV 期	102.0 ▲ 11.1	102.5 ▲ 17.6	99.5 ▲ 12.6	101.1 ▲ 15.1	99.8 ▲ 9.7	102.0 ▲ 14.6						
21年 I 期	76.5 ▲ 25.0	76.6 ▲ 38.3	79.9 ▲ 19.7	79.7 ▲ 32.9	79.3 ▲ 20.5	78.1 ▲ 33.2						
II 期	83.1 8.6	80.4 ▲ 31.2	84.9 6.3	82.8 ▲ 27.2	83.5 5.3	81.4 ▲ 27.3						
III 期	91.6 10.2	93.7 ▲ 19.9	93.1 9.7	93.9 ▲ 17.9	88.6 6.1	89.9 ▲ 19.7						
IV 期	93.8 2.4	94.2 ▲ 8.1	94.6 1.6	96.1 ▲ 4.9	94.9 7.1	96.6 ▲ 5.3						
22年 I 期	100.1 6.7	99.6 30.0	97.5 3.1	97.0 21.7	98.8 4.1	97.5 24.8						
II 期	99.2 ▲ 0.9	95.9 19.3	100.8 3.4	98.4 18.8	99.8 1.0	97.4 19.7						
III 期	98.1 ▲ 1.1	101.1 7.9	100.6 ▲ 0.2	102.0 8.6	101.1 1.3	103.0 14.6						
IV 期	103.2 5.2	103.5 9.9	101.3 0.7	102.7 6.9	100.7 ▲ 0.4	102.1 5.7						
23年 I 期	99.7 ▲ 3.4	98.6 ▲ 1.0	99.6 ▲ 1.7	98.6 1.6	96.9 ▲ 3.8	95.2 ▲ 2.4						
II 期	98.1 ▲ 1.6	95.3 ▲ 0.6	98.2 ▲ 1.4	96.1 ▲ 2.3	92.9 ▲ 4.1	91.0 ▲ 6.6						
III 期	102.0 4.0	104.9 3.8	100.5 2.3	102.1 0.1	99.5 7.1	101.3 ▲ 1.7						
IV 期	100.8 ▲ 1.2	100.8 ▲ 2.6	98.0 ▲ 2.5	98.9 ▲ 3.7	100.5 1.0	101.2 ▲ 0.9						
24年 I 期	101.7 0.9	102.5 4.0	96.3 ▲ 1.7	96.9 ▲ 1.7	101.3 0.8	101.5 6.6						
II 期	103.6 1.9	101.0 6.0	95.1 ▲ 1.2	93.4 ▲ 2.8	99.1 ▲ 2.2	97.2 6.8						
III 期	101.1 ▲ 2.4	103.9 ▲ 1.0	94.0 ▲ 1.2	95.4 ▲ 6.6	95.9 ▲ 3.2	97.3 ▲ 3.9						
IV 期	99.7 ▲ 1.4	100.2 ▲ 0.6	92.5 ▲ 1.6	92.6 ▲ 6.4	94.1 ▲ 1.9	95.2 ▲ 5.9						
25年 I 期	101.8 2.1	101.4 ▲ 1.1	93.2 0.8	92.5 ▲ 4.5	94.6 0.5	93.6 ▲ 7.8						
II 期	102.0 0.2	99.6 ▲ 1.4	94.1 1.0	92.3 ▲ 1.2	96.1 1.6	94.3 ▲ 3.0						
III 期	100.4 ▲ 1.6	102.5 ▲ 1.3	95.9 1.9	97.1 1.8	97.8 1.8	99.5 2.3						
IV 期	104.3 3.9	104.7 4.5	98.5 2.7	99.7 7.7	99.6 1.8	100.7 5.8						
平成 20年 1月	121.7 ▲ 4.8	113.2 ▲ 2.7	116.0 ▲ 2.6	111.5 ▲ 0.2	117.0 0.5	108.5 3.2						
2月	125.2 2.9	124.0 8.6	117.7 1.5	118.7 7.9	117.3 0.3	117.0 5.9						
3月	120.3 ▲ 3.9	135.3 ▲ 5.9	116.9 ▲ 0.7	126.1 ▲ 1.1	116.2 ▲ 0.9	125.3 0.2						
4月	123.0 2.2	116.0 ▲ 0.2	118.1 1.0	114.2 3.9	115.5 ▲ 0.6	111.0 1.6						
5月	117.7 ▲ 4.3	110.7 ▲ 5.7	117.0 ▲ 0.9	110.7 1.2	116.1 0.5	108.7 0.6						
6月	119.9 1.9	123.8 0.6	115.1 ▲ 1.6	116.1 2.2	112.9 ▲ 2.8	115.9 ▲ 0.3						
7月	116.6 ▲ 2.8	123.5 ▲ 1.0	115.5 0.3	119.5 2.0	112.7 ▲ 0.2	117.9 2.3						
8月	116.1 ▲ 0.4	108.2 ▲ 6.1	113.6 ▲ 1.6	107.7 ▲ 2.9	108.7 ▲ 3.5	101.2 ▲ 7.8						
9月	111.8 ▲ 3.7	119.3 ▲ 4.3	112.2 ▲ 1.2	116.1 ▲ 0.4	110.0 1.2	116.9 0.0						
10月	113.5 1.5	114.6 ▲ 6.4	110.7 ▲ 1.3	111.1 ▲ 4.6	107.4 ▲ 2.4	111.7 ▲ 7.7						
11月	103.9 ▲ 8.5	103.4 ▲ 16.7	97.8 ▲ 11.7	98.3 ▲ 17.5	100.2 ▲ 6.7	100.6 ▲ 16.6						
12月	88.5 ▲ 14.8	89.4 ▲ 29.4	89.9 ▲ 8.1	94.0 ▲ 22.8	91.9 ▲ 8.3	93.7 ▲ 19.9						
21年 1月	72.8 ▲ 17.7	67.4 ▲ 40.5	78.0 ▲ 13.2	74.4 ▲ 33.3	83.8 ▲ 8.8	76.6 ▲ 29.4						
2月	74.6 2.5	70.7 ▲ 43.0	79.9 2.4	76.7 ▲ 35.4	76.6 ▲ 8.6	73.5 ▲ 37.2						
3月	82.0 9.9	91.8 ▲ 32.2	81.8 2.4	88.1 ▲ 30.1	77.6 1.3	84.3 ▲ 32.7						
4月	78.9 ▲ 3.8	74.1 ▲ 36.1	83.0 1.5	80.0 ▲ 29.9	81.0 4.4	77.7 ▲ 30.0						
5月	87.1 10.4	80.3 ▲ 27.5	85.7 3.3	80.6 ▲ 27.2	84.0 3.7	77.3 ▲ 28.9						
6月	83.4 ▲ 4.2	86.7 ▲ 30.0	86.1 0.5	87.7 ▲ 24.5	85.6 1.9	89.3 ▲ 23.0						
7月	92.1 10.4	98.2 ▲ 20.5	93.5 8.6	97.4 ▲ 18.5	86.7 1.3	91.3 ▲ 22.6						
8月	89.5 ▲ 2.8	84.1 ▲ 22.3	91.4 ▲ 2.2	87.0 ▲ 19.2	88.0 1.5	82.3 ▲ 18.7						
9月	93.2 4.1	98.9 ▲ 17.1	94.4 3.3	97.4 ▲ 16.1	91.0 3.4	96.1 ▲ 17.8						
10月	95.1 2.0	95.1 ▲ 17.0	96.6 2.3	96.5 ▲ 13.1	93.3 2.5	95.7 ▲ 14.3						
11月	92.9 ▲ 2.3	93.5 ▲ 9.6	94.4 ▲ 2.3	95.3 ▲ 3.1	95.3 2.1	96.6 ▲ 4.0						

(平成22年平均=100)

年 月	広 島 県				中 国 地 方				全 国			
	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比
21年12月	93.4	0.5	94.1	5.3	92.8	▲ 1.7	96.5	2.7	96.1	0.8	97.6	4.2
22年 1月	98.6	5.6	90.8	34.7	97.3	4.8	92.1	23.8	98.5	2.5	88.8	15.9
2月	101.0	2.4	95.2	34.7	97.3	0.0	93.1	21.4	98.9	0.4	94.7	28.8
3月	100.8	▲ 0.2	112.7	22.8	97.9	0.6	105.7	20.0	99.1	0.2	108.9	29.2
4月	101.8	1.0	95.3	28.6	100.8	3.0	96.8	21.0	100.2	1.1	96.2	23.8
5月	99.8	▲ 2.0	92.0	14.6	101.3	0.5	95.4	18.4	100.0	▲ 0.2	92.1	19.1
6月	96.1	▲ 3.7	100.3	15.7	100.4	▲ 0.9	102.9	17.3	99.2	▲ 0.8	103.9	16.3
7月	98.9	2.9	104.9	6.8	101.9	1.5	106.0	8.8	100.3	1.1	104.8	14.8
8月	96.1	▲ 2.8	91.6	8.9	99.9	▲ 2.0	96.1	10.5	100.7	0.4	95.7	16.3
9月	99.4	3.4	106.8	8.0	100.0	0.1	103.8	6.6	102.3	1.6	108.4	12.8
10月	100.2	0.8	99.2	4.3	99.6	▲ 0.4	99.1	2.7	99.4	▲ 2.8	100.3	4.8
11月	104.9	4.7	106.1	13.5	102.4	2.8	103.6	8.7	101.0	1.6	103.2	6.8
12月	104.5	▲ 0.4	105.1	11.7	102.0	▲ 0.4	105.4	9.2	101.6	0.6	102.9	5.4
23年 1月	104.9	0.4	97.8	7.7	102.3	0.3	96.9	5.2	102.1	0.5	92.7	4.4
2月	106.2	1.2	100.1	5.1	102.3	0.0	97.5	4.7	102.7	0.6	98.5	4.0
3月	87.9	▲ 17.2	97.8	▲ 13.2	94.1	▲ 8.0	101.5	▲ 4.0	85.8	▲ 16.5	94.4	▲ 13.3
4月	90.8	3.3	84.7	▲ 11.1	95.1	1.1	90.8	▲ 6.2	87.6	2.1	83.3	▲ 13.4
5月	100.0	10.1	92.5	0.5	98.8	3.9	93.6	▲ 1.9	93.6	6.8	87.4	▲ 5.1
6月	103.6	3.6	108.8	8.5	100.7	1.9	103.9	1.0	97.5	4.2	102.4	▲ 1.4
7月	101.5	▲ 2.0	106.6	1.6	100.0	▲ 0.7	103.8	▲ 2.1	98.7	1.2	102.1	▲ 2.6
8月	103.0	1.5	99.4	8.5	101.0	1.0	98.1	2.1	100.4	1.7	96.7	1.0
9月	101.5	▲ 1.5	108.8	1.9	100.6	▲ 0.4	104.3	0.5	99.5	▲ 0.9	105.1	▲ 3.0
10月	100.2	▲ 1.3	98.7	▲ 0.5	98.7	▲ 1.9	98.3	▲ 0.8	101.3	1.8	101.8	1.5
11月	101.1	0.9	102.1	▲ 3.8	98.0	▲ 0.7	98.8	▲ 4.6	99.1	▲ 2.2	100.7	▲ 2.4
12月	101.2	0.1	101.5	▲ 3.4	97.3	▲ 0.7	99.6	▲ 5.5	101.1	2.0	101.0	▲ 1.8
平成 24年 1月	101.5	0.3	94.3	▲ 3.6	96.0	▲ 1.3	90.7	▲ 6.4	101.5	0.4	92.8	0.1
2月	101.2	▲ 0.3	100.4	0.3	96.5	0.5	96.5	▲ 1.0	101.3	▲ 0.2	101.5	3.0
3月	102.3	1.1	112.9	15.4	96.4	▲ 0.1	103.6	2.1	101.1	▲ 0.2	110.1	16.6
4月	104.9	2.5	98.1	15.8	95.9	▲ 0.5	91.6	0.9	100.6	▲ 0.5	95.9	15.1
5月	100.9	▲ 3.8	94.8	2.5	94.2	▲ 1.8	90.2	▲ 3.6	98.8	▲ 1.8	94.0	7.6
6月	105.0	4.1	110.2	1.3	95.3	1.2	98.3	▲ 5.4	98.0	▲ 0.8	101.8	▲ 0.6
7月	99.6	▲ 5.1	104.8	▲ 1.7	93.2	▲ 2.2	97.3	▲ 6.3	97.5	▲ 0.5	102.2	0.1
8月	103.9	4.3	100.6	1.2	96.5	3.5	94.0	▲ 4.2	96.1	▲ 1.4	92.7	▲ 4.1
9月	99.8	▲ 3.9	106.4	▲ 2.2	92.2	▲ 4.5	94.9	▲ 9.0	94.0	▲ 2.2	97.1	▲ 7.6
10月	99.2	▲ 0.6	98.5	▲ 0.2	94.0	2.0	91.8	▲ 6.6	94.3	0.3	97.0	▲ 4.7
11月	98.7	▲ 0.5	100.7	▲ 1.4	91.7	▲ 2.4	92.7	▲ 6.2	93.4	▲ 1.0	95.2	▲ 5.5
12月	101.3	2.6	101.3	▲ 0.2	91.8	0.1	93.2	▲ 6.4	94.7	1.4	93.3	▲ 7.6
平成 25年 1月	100.5	▲ 0.8	93.5	▲ 0.8	92.6	0.9	88.0	▲ 3.0	94.0	▲ 0.7	86.9	▲ 6.4
2月	103.4	2.9	99.6	▲ 0.8	93.9	1.4	90.4	▲ 6.3	94.8	0.9	91.4	▲ 10.0
3月	101.6	▲ 1.7	111.2	▲ 1.5	93.2	▲ 0.7	99.1	▲ 4.3	95.1	0.3	102.4	▲ 7.0
4月	103.7	2.1	99.0	0.9	96.2	3.2	92.9	1.4	95.7	0.6	92.8	▲ 3.2
5月	103.6	▲ 0.1	97.8	3.2	95.0	▲ 1.2	91.1	1.0	97.7	2.1	93.1	▲ 1.0
6月	98.7	▲ 4.7	102.1	▲ 7.4	91.0	▲ 4.2	92.9	▲ 5.5	95.0	▲ 2.8	97.0	▲ 4.7
7月	104.7	6.1	112.2	7.1	97.9	7.6	102.9	5.8	97.6	2.7	104.1	1.9
8月	97.7	▲ 6.7	92.4	▲ 8.2	94.5	▲ 3.5	90.7	▲ 3.5	97.1	▲ 0.5	92.1	▲ 0.6
9月	98.7	1.0	103.0	▲ 3.2	95.4	1.0	97.8	3.1	98.6	1.5	102.2	5.3
10月	108.6	10.0	107.9	9.5	100.1	4.9	100.5	9.5	99.2	0.6	102.2	5.4
11月	103.3	▲ 4.9	104.9	4.2	98.7	▲ 1.4	100.4	8.3	99.5	0.3	99.8	4.8
12月	100.9	▲ 2.3	101.3	0.0	96.7	▲ 2.0	98.3	5.5	100.0	0.5	100.0	7.2

出所：中国地方 … 「中国地域鉱工業生産動向」（経済産業省中国経済産業局）

全 国 … 「鉱工業生産・出荷・在庫指数」（経済産業省）